

「有料レジ袋収益金」を東急財団に寄付

株式会社東急ストア(本社:東京都目黒区)では、プラスチックの埋立・自然投棄による環境汚染や海洋ごみ問題など、私たちの生活環境を取り巻く課題が深刻となるなか、2020年7月1日より、環境に配慮したバイオマス原料を配合したレジ袋を有料で販売することで、お客さまと共にレジ袋の使用量の削減と環境負荷低減に取り組んでおり、レジ袋辞退率は約8割まで高まっています。

また、対象期間におけるレジ袋の販売代金としていただいた収益金 602万円を公益財団法人 東急財団(本部:東京都渋谷区、理事長:金指潔)へ寄付しました。東急財団は、多摩川流域および東急線沿線の環境に関する啓発普及事業※や活動支援事業などに取り組んでおり、本寄付金を東急線沿線の環境保全活動に役立てています。

これからも東急ストアでは、お客さまのご理解とご協力のもと、環境保全活動や社会貢献活動を続けてまいります。

※啓発普及事業の一例

＜環境学習副読本「ようこそ多摩川へ」の発行＞

さまざまな生き物を育み、流域の人々に恵みをもたらしてくれる「多摩川」に対し、子どもたちが知識と親近感を持つことを目的に、小学校での授業や課外活動で使用することを想定して制作。流域の小学校等は無償配布しています。



＜環境学習副読本「ようこそ多摩川へ」＞

【有料レジ袋収益金寄付の概要】

対象期間	2020年7月1日(水)から2020年12月31日(木)
対象店舗	東急ストア・プレッセ全店
寄付額	602万円
寄付先	公益財団法人 東急財団

■公益財団法人 東急財団の概要

1974年(昭和49年)、東京急行電鉄株式会社(現 東急株式会社)の五島昇社長(当時)は、東急の事業地域の中心を流れる多摩川流域の環境浄化を図るため「とうきゅう環境浄化財団」を設立。2010年には「とうきゅう環境財団」と改称し、水質浄化のみならず、多摩川流域の生物の生態、歴史文化も含めた調査研究を幅広く支援することとし、多摩川流域を中心とした豊かな環境の創造を目指してきました。

「とうきゅう環境財団」は2019年4月、「とうきゅう留学生奨学財団」、「五島記念文化財団」と合併し「東急財団」として新たにスタートしました。

有料レジ袋収益金の 寄付について

東急ストアはこの度、お客さまより有料レジ袋代金として頂いた収益金を寄付いたしました。

寄付金額:602万円

寄付金は、公益財団法人 東急財団を通じて環境保全や社会貢献活動に役立ててまいります。

寄付先の概要



公益財団法人

東急財団

東急財団（環境事業）は、かつて水質汚染が深刻な問題となっていた多摩川流域の環境浄化を図ることを目的に、「とうきゅう環境浄化財団」として1974年に設立。現在は水質浄化のみならず、生物の実態、歴史文化などの調査研究への支援や小学校へ環境学習副読本の配布を行い環境啓発活動に取り組むなど、多摩川流域を中心とした豊かな環境の創造に努めています。



撮影:中井 精也